



## 「魔法の言葉」

生協わかばの里  
主任 鈴木 富喜

介護士を10年務めている間、様々な利用者・家族様と関わってきました。

家族が遠方のため、自宅に帰りたいのに、入所されてから一度も自宅に外出できず、泣いて暮らす利用者様。特例で、職員が付き添って自宅へ外出したことがありました。

庭には、“びわ”がなっていました。「おいしんだよ」と言われ、一緒に食べました。

「ありがとう、家には入れなかったけど近所の人にも会えたし、よかった」と笑顔が見られました。

現代社会では、人と人とのコミュニケーションが希薄になりがちです。面と向かって感謝をされることも少なくなりました。仕事に行きたくないなんて思うこともあります。利用者様が言ってくれる魔法の言葉「ありがとう」に力をもらって頑張れています。

